

# 日 絹 月 報

平成 22 年 9 月号 第 402 号

発行：社団法人日本絹人織織物工業会

日本絹人織織物工業組合連合会

Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

## 本号の主なニュース

1. 平成 23 年度繊維関連予算概算要求について
2. 生系の関税割当申請(二次募集)並びに実績報告書提出について
3. JFW ジャパン・クリエーション 2011 A/W の開催について
4. 日印 EPA 大筋合意

## ◇平成 23 年度繊維関連予算概算要求について◇

経済産業省の 2011 年度(平成 23 年度)繊維関連概算要求が決定された。

平成 23 年度は「今後の繊維・ファッション産業のあり方に関する研究会」の報告書を踏まえた形で、①内需依存体質からの脱却・外需の取り込み②個別から連携・統合へ③トップレベルの技術を幅広い分野に④コスト競争からの脱却・感性をビジネスへの 4 つを柱になっている。

なお、繊維関連基金の終了に伴い、平成 23 年度の繊維関連予算の概算要求は、繊維産業単体ではなく繊維産業も活用できるいわゆる業種横断的な施策の枠内で要求しており、新規施策では「クールジャパン戦略推進事業」とトップレベルの技術を幅広い分野に応用するために「革新炭素繊維基盤技術開発」が加わった。

また、「東京発日本ファッション・ウィーク(JFW)」のコレクションショーへの支援は今年度で終了するが、今後の JFW は「クールジャパン戦略推進事業」の核として位置づけ、デザイナーの海外進出や素材メーカーの販売支援などは継続する。

## 記

### 1. 内需依存体質からの脱却・外需の取り込み

クールジャパン戦略推進事業

19.2 億円【新規】

【要望枠】

予算要求課：製造産業局クール・ジャパン室

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う。具体的には、対象市場ごとに戦略を構築し、国内外でのプロモーションイベント、ビジネスマッチング等を実施する。

**中小企業海外展開等支援事業**

35億円【要望枠】

平成22年度予算額：23億円

予算要求課：通商政策局通商政策課

中小企業庁新事業促進課

JETROと中小機構が連携し、中小企業の海外展開を一貫して支援する体制を確立する。

具体的には、中小機構が、海外展開を目指す中小企業の裾野拡大のため、海外展開戦略策定支援や商品の外国語対応支援など海外展開に向けた準備支援を実施するとともに、多数の外国人バイヤーが訪れる国内見本市における支援を実施するなど、経営支援の観点から国内における支援体制を整備する。

JETROにおいては、広範なネットワークを活用して、中小企業の海外展開を支援する。具体的には、中小企業に対する海外見本市への出店支援や海外バイヤーの招聘を拡充することにより、ビジネスマッチングの機会提供を強化する。また、海外コーディネーターの拡充等により、海外市場等に関する各種情報の提供や、海外企業とのビジネスマッチング支援など、中小企業の支援ニーズに即した海外販路開拓支援を強化する。

**新事業活動促進支援補助金**

38億円の内数

平成22年度予算額：42.5億円の内数

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

地域の基幹産業である商工業と農林漁業の連携を支援する農商工連携促進法や、異分野の中小企業の連携を支援する新事業活動促進法に基づき、中小企業者が新商品・新サービスを開発・販売する取組を支援する。

**JAPANブランド育成支援事業（補助金）**

6億円

平成22年度予算額：7億円

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

中小企業の新たな海外販路の開拓につなげるため、地域における複数の中小企業が協働し、自らの持つ素材や技術等の強みを踏まえた戦略の策定支援を行うとともに、それに基づいて行う商品の開発や海外市場開拓の取組に対する支援を実施する。

## 2. 個別から連携・統合へ

### 新事業活動促進支援補助金【再掲】

38億円の内数

平成22年度予算額：42.5億円の内数

予算要求課：中小企業庁新事業促進課

地域の基幹産業である商工業と農林漁業の連携を支援する農商工連携促進法や、異分野の中小企業の連携を支援する新事業活動促進法に基づき、中小企業者が新商品・新サービスを開発・販売する取組を支援する。

### 中小企業経営支援体制連携強化事業

45億円の内数

平成22年度予算額：40.2億円の内数

予算要求課：中小企業庁経営支援課

中小企業の日常的な経営支援に取り組む中小企業団体や税理士・公認会計士などの支援機関の支援機能を補完・強化するため、その後方支援機関として「中小企業応援センター」を設置し、支援機関への専門家派遣等を通じて中小企業の生産性の向上に資する支援等を実施する。

### 戦略的基盤技術高度化支援事業

150億円の内数

平成22年度予算額：150億円の内数

予算要求課：中小企業庁創業・技術課

我が国製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、「特定ものづくり基盤技術」の高度化に資する中小企業の研究開発から試作まで含む取組を支援する。

### クールジャパン戦略推進事業【再掲】

19.2億円【新規】

【要望枠】

予算要求課：製造産業局クール・ジャパン室

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う。具体的には、対象市場ごとに戦略を構築し、国内外でのプロモーションイベント、ビジネスマッチング等を実施する。

## 3. トップレベルの技術を幅広い分野に

### 革新炭素繊維基盤技術開発

2.5億円【新規】

予算要求課：産業技術環境局研究開発課

製造産業局繊維課

炭素繊維の製造エネルギーとCO<sub>2</sub>排出量の半減及び生産性の大幅向上(大量供給)を両立させる革新炭素繊維製造プロセスに係る基盤技術開発を行う。具体的には、①新規前駆体の設計・合成、②炭化構造形成メカニズムの解明、③炭素繊維の物性評価・評価手法開発などの技術開発を行う。

#### **サステナブルハイパーコンポジット技術の開発**

NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構) 運営費交付金

5.0億円

平成22年度予算額:6.0億円

予算要求課:産業技術環境局研究開発課

製造産業局繊維課

加工の迅速性やリサイクル性を向上させることのできる熱可塑性樹脂を用いた新たな炭素繊維複合材料(サステナブルハイパーコンポジット)の開発を行う。具体的には、①易加工性中間基材の開発、②高速成形技術の開発、③接合技術の開発、④リサイクル技術の開発の研究開発項目を実施する。

#### **グリーンセンサ統合制御システム制御実証プロジェクト**

10.5億円【新規】

予算要求課:産業技術環境局研究開発課

製造産業局産業機械課

製造産業局繊維課

オフィスビルや工場等でのエネルギー消費量や二酸化炭素排出量の把握(見える化)及びマネジメント(最適化)を行い、低炭素社会の実現に寄与するため、自立電源・無線通信・メンテナンスフリーの革新的MEMSセンサを開発するとともに、これを建物内に設置し、柔軟かつ統合的にエネルギー制御を行うシステムの実証を行う。

特に、繊維関係では、ナノファイバー構造型光電/熱電変換材料技術による自立電源を開発する。

### **4. コスト競争からの脱却・感性をビジネスへ**

#### **クールジャパン戦略推進事業【再掲】**

19.2億円【新規】

【要望枠】

予算要求課:製造産業局クール・ジャパン室

「クールジャパン」と呼ばれ人気が高いコンテンツやファッションなどについて、相手国市場にあわせて業種を超えたパッケージ化による日本のブランド価値向上を行う。具体的には、対象市場ごとに戦略を構築し、国内外でのプロモーションイベント、ビジネスマッチング等を実施する。

◇ 生系の関税割当申請(二次募集)並びに実績報告書提出について ◇

1. 関税割当の二次募集について

農林水産省は平成22年度の関税割当に残量(生系換算で1,000俵相当)が生じたため、21国際第1103号関税割当公表第39号の規定により、平成22年度の繭及び生系の関税割当申請(二次申請)を受け付けます。

生系の関税割当申請者の資格を有する者(絹織物業者若しくはその組合団体)にあって、割当を希望する場合は、本会関係では既に通知した「平成22年度関税割当制度の申請手続き(二次募集)について」(9月3日付22絹人織工連発第24号)を参照の上、10月1日(金)までに本会に申請書の提出を行ってください。

2. 実績報告書提出について

また、同規定により平成22年度上半期(4月～9月)の実績報告書の提出を行うことになっています。

については、本年4月に関税割当を受けた者は「関税割当実績報告書の提出について」(9月3日付22絹人織工連発第25号)を参照の上、10月6日までに本会に実績報告書の提出を行ってください。

◇ JFWジャパン・クリエーション2011A/Wの開催について ◇

日本ファッション・ウィーク推進機構は、9月13日JFW-JC(JFWジャパン・クリエーション)の開催概要を発表した。

出展は255件で今回から海外企業に門戸を開放し、台湾2社、中国2社、トルコ、韓国から各1社が出展する。また、バイヤー誘致ではジェトロ(日本貿易振興機構)が仏バレンシアガ、伊ロベルト・アヴォリオなど3社前後の海外バイヤーを招き、ビジネスマッチングを行う。

当会は、今年で3回目を迎えるが、単独小間での出展はできないが自社開発製品を広くバイヤー等に見てもらいビジネスチャンスを求めたいとする積極的企業に対し、会員組合を通じて出展企業の募集を行った。その結果、日絹ブースからは7産地48の企業と企業グループが参加する。

記

JFW-JC2011A/W

[開催日] 2010年10月13日(水)・14日(木)・15日(金) 3日間

[時間] 10:00～18:00(最終日のみ17:00まで)

[会場] 東京ビッグサイト 西1・2ホール

[日絹ブース番号] A-28～52(プロモーションゾーン)

※会員組合あてに別途招待状(1部)を送付しましたので、お越しの際はご利用ください。

## ◇ 日印 EPA 大筋合意 ◇

日本とインドの二国間のEPA（経済連携協定）が大筋合意した。

繊維分野では日本提案の2工程ルールが受け入れられ10月に正式合意、2011年に正式発効する見込み。これにより日本側はすべての繊維製品については関税を即時撤廃し、インド側は96%に当たる1771品目の関税を即時撤廃するとともに、化繊など70品目の関税を10年間で段階的に撤廃することになる。インド政府は日本の2工程ルール受け入れ条件として繊維分野での協力を求めており、日本側の対応として①様々な繊維協力に関するセミナーやカンファレンスの開催を奨励、②展示会等市場アクセス振興活動の支援奨を実施する、ことで合意に至った。

両国の09年の繊維貿易は、日本の輸入が298億円、輸出が79億円でその内アパレル製品の輸入が180億円、輸出は殆どない状況となっている。

日本のアパレル企業は労働者不足の中国国内の諸問題に対応するためにチャイナプラスワンの開拓を本格化させており、一方インド側もベトナムが発効済のEPAを活用して日本への輸出を急伸させていることに注視するなど、今後EPAにより両国のアパレル貿易が活発化することが期待されている。

また、欧米企業は既に中国に次ぐ巨大マーケットでの拡販に着手しており、出遅れた日本企業はインド市場にどこまで食い込めるか、EPAがその流れを後押しできることを期待する声は多い。

なお、本会は今後の動向について日本繊維産業連盟の繊維通商問題研究会を通じて会員組合に対して情報の提供を引き続き行う予定です。

## ◇ 今月の「資金調達ナビ」最新の支援情報(全国版) ◇

中小機構では、J-Net21スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されているWEB情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することができます。

中小機構ホームページ<http://j-net21.smrj.go.jp/raise/index.html>  
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)

### 中小企業緊急雇用安定助成金 (厚生労働省(ハローワーク))

景気の変動、産業構造の変化その他の経済上の理由により、事業活動の縮小を余儀なくされた事業主が、その雇用する労働者を一時的に休業、教育訓練又は出向をさせた場合に、休業、教育訓練または出向に係る手当若しくは賃金等の一部を助成します。

**募集期間：平成20年12月から当面の間**

**経営環境変化資金（セーフティネット貸付）** （日本政策金融公庫 国民生活事業）

社会的、経済的環境の変化などにより、一時的に業況の悪化を来している中小企業者に対し、経営基盤の強化を図るための資金を融資します。融資額は4,800万円以内です。

募集期間：～2012/3/31

**金融環境変化資金（セーフティネット貸付）** （日本政策金融公庫 国民生活事業）

金融機関との取引状況の変化により、一時的に資金繰りに影響を受けている中小企業者に対し、経営の安定を図るための資金を融資します。融資額は別枠4,000万円以内です。募集期間：～2012/3/31

**取引企業倒産対応資金（セーフティネット貸付）** （日本政策金融公庫 国民生活事業）

取引企業などの倒産により経営に困難を来している中小企業者に対し、企業の運営上一時的に必要な資金を融資します。融資額は別枠3,000万円以内です。

募集期間：～2012/3/31

※中小企業庁のホームページに公開されている

平成22年度「中小企業施策利用ガイドブック」もご利用ください

[http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g\\_book/index.html](http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/g_book/index.html)

## 動 向

- 8月24日 日本繊維産業会議・合同会議
- 30日 織布運転外国人評価試験
- 9月8日 大日本蚕糸会 蚕糸絹情報連絡会
- 17日 日本繊維産業連盟 繊維通商問題研究会 制度関連チーム

## 会議予定

- ☆ 日本繊維産業連盟 第44回繊維通商問題研究会  
9月21日（火） 14時 於 繊維会館
- ☆ 日本繊維産業連盟 経産省新旧製造産業局長と連盟首脳との懇談会  
9月22日（水） 18時 於 東海大学校友会館
- ☆ 日本繊維倶楽部 第290回繊維午餐会  
9月30日（木） 12時 於 アルカディア市ヶ谷
- ☆ 全国中小企業団体中央会 組織専門委員会  
10月1日（金） 13時30分 於 全中・全味ビル

- ☆ 全日本帯地連盟 平成22年度委員総会  
10月3日(日) 15時 於 西陣織会館
- ☆ 当会資産運用検討委員会  
10月13日(水) 11時30分 於 東京ビッグサイト
- ☆ 当会絹織物部会・化合織物部会・専門委員会合同会議  
10月13日(水) 12時 於 東京ビッグサイト
- ☆ 第11回「東京発日本ファッション・ウィーク」レセプション  
10月18日(月) 18時30分 於 東京ミッドタウン
- ☆ 中央蚕糸協会 蚕糸絹業をめぐる情報交換会  
10月20日(水) 14時 於 蚕糸会館

## イベント

- ☆ `10桐生織物織姫展  
10月7日(木)～8日(金) 10時～17時(8日は9時～16時)  
会場：日本橋 綿商会館
- ☆ `第106回島田大祭(帯まつり)  
10月9日(土)～11日(月) 10時～17時  
会場：島田市本通り界限
- ☆ JFW-ジャパנקリエーション2011A/W  
10月13日(水)～15日(金) 10時～18時(最終日は17時まで)  
会場：東京ビッグサイト(西ホール)
- ☆ TOCHIO TEXTILE COLLECTION '11  
10月14日(木)～15日(金) 10時30分～18時(15日は16時30分)  
会場：表参道・新潟館 ネスパス3F